

# 平成29年度 まちの財務書類

## ■地方公会計制度に基づく財務書類(一般会計分)

官庁会計決算を補完する資料として、複式簿記の考え方に基づく新公会計財務書類「①貸借対照表、②行政コスト計算書、③純資産変動計算書、④キャッシュ・フロー計算書」を作成しています。

養護老人ホーム葛葉荘などの整備により有形固定資産が増加した一方、財源として借り入れた地方債が増加していることがわかります。

「投資・出資・貸付金等」が大きく増加しているのは、平成29年度決算分から新たに水道事業会計と連結することに伴う「無償所管換等」によるものです。

## ■貸借対照表 (BS)

貸借対照表は、会計年度末時点で住民サービスを提供するために所有する資産(土地、建物、基金など)がどれだけあり、その資産を形成するために今までどのような財源(負債、純資産)で賄ってきたのかを表す財務書類です。

### ●貸借対照表 (BS)

(単位:千円)

[資産の部]	平成29年度	平成28年度	差引増減	[負債の部]	平成29年度	平成28年度	差引増減
固定資産	21,852,341	20,405,980	1,446,361	固定負債	8,225,333	7,875,487	349,846
有形・無形固定資産	15,207,653	14,959,322	248,331	(1)地方債	7,147,326	6,733,011	414,315
(1)土地	1,393,151	1,338,135	55,016	(2)退職手当引当金	1,047,206	1,103,812	△ 56,606
(2)立木竹	98,896	86,568	12,328	(3)その他	30,801	38,664	△ 7,863
(3)建物	5,517,430	4,665,943	851,487				
(4)工作物	522,455	306,753	215,702	流動負債	634,305	672,001	△ 37,696
(5)インフラ資産	7,508,571	7,834,032	△ 325,461	(1)1年内償還予定 地方債	554,294	546,898	7,396
(6)物品	153,812	127,908	25,904	(2)賞与等引当金	46,311	44,445	1,866
(7)その他	13,338	599,983	△ 586,645	(3)預り金	33,700	80,658	△ 46,958
				<b>負債合計</b>	<b>8,859,638</b>	<b>8,547,488</b>	<b>312,150</b>
出資金・貸付金等	6,644,688	5,446,658	1,198,030	<b>[純資産の部]</b>	<b>平成29年度</b>	<b>平成28年度</b>	<b>差引増減</b>
(1)投資・出資・ 貸付金等	1,638,627	1,031,089	607,538	資産合計－負債合計	14,524,516	13,972,805	551,711
(2)基金	5,006,061	4,415,569	590,492	=純資産合計			
①減債基金	620,821	620,815	6				
②特定目的基金	4,385,240	3,794,754	590,486				
流動資産	1,531,813	2,114,313	△ 582,500				
(1)現金預金	673,976	1,256,925	△ 582,949				
(2)未収金	4,893	4,452	441				
(3)財政調整基金	852,944	852,936	8				
<b>資産合計</b>	<b>23,384,154</b>	<b>22,520,293</b>	<b>863,861</b>	<b>純資産合計</b>	<b>14,524,516</b>	<b>13,972,805</b>	<b>551,711</b>

- 資産 = 将来の世代に引き継ぐ社会資本、債務返済の財源等
- 負債 = 将来の世代の負担となる債務
- 純資産 = これまでの世代の負担

町民一人当たり  
換算すると



資産 372万円 (H28: 351万円)	負債 141万円 (H28: 133万円)
	純資産 231万円 (H28: 218万円)

※葛巻町の人口 6,279人 (H30.3.31現在)

## ■行政コスト計算書

行政コスト計算書は、当該年度に行った行政活動のうち、ごみの収集や福祉サービスの提供といった資産の形成には結びつかない行政サービスに係る経費と財源のフローを表したものです。

行政コスト	59.0億円	収益	4.6億円
<b>人にかかるコスト</b>		<b>日常的に受ける収益</b>	
給与や退職引当、共済掛金等	8.6億円	使用料、手数料	0.5億円
<b>物にかかるコスト</b>		その他経常収益	4.1億円
消耗品、維持補修費、減価償却費等	24.2億円		
<b>移転支出コスト</b>		<b>臨時的に受ける収益</b>	
社会保障給付費や補助金など	24.4億円	引当金の取崩しなど	－億円
<b>その他のコスト</b>			
支払利息、火災保険料等	0.6億円	<b>純行政コスト</b>	<b>54.4億円</b>
臨時に係るコスト	1.2億円	不足する54.4億円は町税や地方交付税などの一般財源や、国・県補助金などで賄っています。	

## ■純資産変動計算書

貸借対照表上の「純資産」が1年間でどのように変動したのかを示すものです。

税収や国・県補助金、減価償却などにより、純資産がどのように増減したのかを表しています。

純資産合計	
期首純資産残高	139.7億円
純経常行政コスト	▲54.4億円
税収等	40.4億円
補助金等受入	12.1億円
その他	7.5億円
期末純資産残高	145.3億円

## ■資金収支計算書

資金収支計算書は、1年間の行政活動による現金預金の収入と支出を表す財務書類です。

<b>1 業務活動収支 A</b>	<b>7.3億円</b>
業務支出	49.2億円
業務収入	52.4億円
臨時支出	－億円
臨時収入	4.1億円
<b>2 投資活動収支 B</b>	<b>△16.8億円</b>
投資活動支出	17.6億円
投資活動収入	0.8億円
<b>3 財務活動収支 C</b>	<b>4.1億円</b>
財務活動支出	5.6億円
財務活動収入	9.7億円
本年度資金収支額(A+B+C) D	△5.4億円
前年度末資金残高 E	11.8億円
本年度末資金残高(D+E) F	6.4億円
本年度末歳計外現金残高 G	0.3億円
本年度末現金預金残高(F+G)	6.7億円

一般会計の財務書類のほか、町の特別会計・公営事業会計を加えた「全体財務書類」、一部事務組合や第三セクター等を加えた「連結財務書類」は、町ホームページで公表しています。